

少しずつ朝の涼しさを感じる日が多くなってきました。学校では、先週から再開したあいさつ運動に、保護者の方々が参加してくださり、生徒も教職員も元気をいただいております。お忙しい中、子どもたちのために、本当にありがとうございます。

生徒の皆さん、今日から体育会の全体練習が始まりました。どの学年も体育の時間に練習してきた学年パフォーマンスが、今日から本番までの限られた時間の中で、どれだけ完成度の高い仕上がりになるか、各学年の団結力の見せどころです。無観客での体育会ですが、「主役は生徒全員」であることは変わりません。『Never Give UP ～決して諦めるな～』のスローガンのとおり、もてる力を最大限に発揮し、郷内中らしい見ごたえのある演技やレースを期待しています。

体育会準備

先週、体育委員をはじめ学級委員、2、3年生の陸上競技部、文化委員、図書委員、給食委員さんたちが、暑さの残る放課後のグラウンドで、体育会の係の練習をしていました。また、昨日は、多くの他の係の人たちが、テントを組み立てたり草抜きをしたりしていました。係の人たちが、当日までに何度か係会を行い、準備を整えて本番を迎えるのですね。どんな行事も、成功するか否かは、準備の段階で80%決まると言われます。こうした係の人たちの善意や努力の積み重ねがあるから、体育会が開催できる。ありがたいことですね。テントができると、一気に体育会の雰囲気になりました。規模が縮小した分、気持ちを拡大しましょう！



ほのぼのとした会話

2学期の課題テスト2日目の朝、あいさつ運動をしていた1年生の会話です。

Aさん「もう人生終わったわ。数学のテストがある～～！ 昨日、寝んかったらよかった～！」
Bさん「え！？」
Aさん「昨日、夜遅くまで起きとったら、おばあちゃんの足音が近づいてきたから、あわてて電気消して身をひそめたんよ。なのに、おばあちゃんに気づかれて、「こんな遅うまで勉強やとったん。」て言われたんよ～。なんで、ばれたんじゃろ。」
Bさん「あははは。」

そのあとも2人の会話は続き、やがて数学の問題の出し合いをしていました。おばあちゃんの足音であわてて電気を消して身をひそめる姿の子どもらしさと、孫のあわてぶりとは逆に、すべて気づかれているおばあちゃんの冷静さがとてもおもしろくて、なんだかほのぼのとした気分になりました。

制服検討委員会から〈お知らせ〉

来年度からのブレザータイプ制服導入に向けて、制服検討委員会のメンバーで、検討が始まっています。次回の検討委員会、9月24日（木）には、いよいよ制服業者さんによるデザインのプレゼンテーションを行います。プレゼンで提案された制服モデルをそのままお借りして、9月28日（月）から10月9日（金）の学校公開期間に、会議室で公開します。保護者の皆様のご意見を参考にさせていただきたいと思っておりますので、ぜひ、会議室にもお立ち寄りください。

新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止に向けた文部科学大臣
メッセージです。生徒には2学期始業式で生徒向けの話をしています。

保護者・地域の皆様へ

学校において、児童生徒等の学びを確保するための取組を進めることができているのは、保護者や地域の皆様に感染症対策の取組に御理解と御協力を賜っているからであり、心より感謝申し上げます。しかし、このような取組を徹底しても学校や家庭、社会において感染するリスクをゼロにすることはできません。誰もが感染する可能性があります。その上、新型コロナウイルス感染症には未だ解明されていない点があり、ワクチンも開発中であることから、この感染症に対する不安をお持ちの方が多くと思います。

私たちは、この感染症と、この感染症がもたらした社会の変化に対して、現時点での科学的な知見や見解に基づいて、正しく向き合うことが必要です。私からは、保護者や地域の皆様に次の二点をお願いいたします。

第一に、感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等を許さないということです。誰もが感染する可能性があるのですから、感染した児童生徒等や教職員、学校の対応を責めるのではなく、衛生管理を徹底し、更なる感染を防ぐことが大切です。そして、自分が差別等を行わないことだけでなく、「感染した個人や学校を特定して非難する」「感染者と同じ職場の人や、医療従事者などの家族が感染しているのではないかと疑い悪口を言う」など身の周りに差別等につながる発言や行動があったときには、それに同調せず、「そんなことはやめよう」と声をあげていただきたい。人々の優しさはウイルスとの闘いの強い武器になります。

感染を責める雰囲気広がると、医療機関での受診が遅れたり、感染を隠したりすることにもつながりかねず、結局は地域での感染の拡大にもつながり得ます。その点からも差別等を防ぐことは必要なことです。

第二に、学校における感染症対策と教育活動の両立に対する御理解と御協力です。感染症への対応が長期にわたることが想定される中、学校では、感染症対策を講じつつ学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動を進め、子供たちの健やかな学びを最大限保障するための取組を進めていただいているところです。また、大学についても、感染症対策の徹底と、対面による授業の検討も含めた学修機会の確保の両立をお願いしております。

これからの予測困難な時代を生きていく児童生徒等や学生が、必要となる力を身に付けていくことができるよう、学校の教育活動の継続への御理解と御協力をお願いいたします。新型コロナウイルスのみならず、感染症へ正しく対応するためには、最新の科学的な知見等を知ることが不可欠です。政府として、分かりやすい広報に努めているところですが、保護者や地域の皆様におかれても科学的な知見等を日々の生活に生かしていただきたいと思っております。

令和二年八月
文部科学大臣萩生田光一